

作業計画と実績

2018年12月19日現在

月日	曜日	予定 (12/5週間予定表より)	実績
12月3日	月		
12月4日	火	・ソユーズ57S到着(6人体制に復帰)	・ソユーズ57S到着(6人体制に復帰)
12月5日	水		・船内に回収して搭載装置を交換していた米国の船外実験装置NREPの再設置
12月6日	木	・SpX-16到着	・「きぼう」エアロックの加圧
12月7日	金		
12月8日	土		・SpX-16到着
12月9日	日	・SpX-16で運搬した米国の船外実験装置GEDIを「きぼう」の船外プラットフォームに設置(地上からのロボットアーム運用)	

日付は日本時間

- 略語
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - ExHAM: 簡易曝露実験装置
 - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
 - NREP: NanoRacks External Platform (米国NanoRacks社の船外実験装置)
 - GEDI: Global Ecosystem Dynamics Investigation (米国の地球観測用レーザー装置)

作業計画と実績

2018年12月19日現在

月日	曜日	予定 (12/5週間予定表より)	実績		
12月10日	月	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ○船外利用 ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線/パ ーストの観測 (CALET)	[継続実施中] ○船内利用 ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES		
12月11日	火			・MISSEの船外搬出準備(きぼう「エアロック」作業)	
12月12日	水		○船外利用 ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線/パ ーストの観測 (CALET)	○船外利用 ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー電 子、ガンマ線/パ ーストの観測 (CALET)	
12月13日	木				
12月14日	金				・SpX-16で運搬した米国の船外実験装置GEDIを「きぼう」の船外プラットフォームに設置(地上からのロボットアーム運用)
12月15日	土				
12月16日	日				

日付は日本時間

略語 Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
 (代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
 Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
 MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 ExHAM: 簡易曝露実験装置
 CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置
 MISSE: Materials ISS Experiment (NASAの材料曝露実験装置)
 GEDI: Global Ecosystem Dynamics Investigation (米国の地球観測用レーザー)